

吉嗣拜山 よしつぐ 畫家、漢詩人。弘化二年筑前國生れ、大正四年一月十日歿（二八四—一九五）。薩達、宇吉達、道稱達之進。別號古香庵、并山人、獨寧庵、獨臂翁、蘇道人。中世耕石の弊あり。大政官の奉職と右腕を傷失して退く。ゆち左手を以て描き一家を成す。おも書は能くした。六。

著書 『大宰府廿四詠』（明治十七年六月編）福留田幹三郎・大藪幹太郎・

御田越太郎刊、『古今書畫屋詩存』全二冊（度鼓山齋・岡崎番石・善多橋園校字、

大正七年二月二十八日刊）等。